

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 多文化のまちづくり

1. 事業名称

「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室開催事業

2. 事業の目的

デカセギから定住化に向かいつつある地域の外国人が生活に必要な日本語を学習しながら、日本の制度や習慣を学び、生活能力を高め、多文化共生の地域を支える一員として活躍することで、外国人の社会参加を促進していくことを目的とする。

3. 事業内容の概要

実践的な日本語学習により、地域の外国人の生活能力の向上と自助能力を高めると共に、社会参加の促進を目指すことで、地域として外国人を受け入れ、サポートできる礎を築く。

具体的には、

- 誰もが日常生活で遭遇する場面を各カリキュラムに分けて学習する
- 各カリキュラムで学習した表現や言葉を用いて、基礎的な文法を反復学習する
- 「聞く」「読む」「話す」「日本語で考えて発表する」といった一連の流れをバランスよく学習する
- 地域の情報やルールの学習を通じ、社会参加のきっかけとすることで、地域の外国人理解に貢献する

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 10月24日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	三上憲一、水谷大 輔、房前ミレーナ、青 木スージー、登田ア ナ、金箱亜希	日本語教室の参加人数と受講生のレベルとニーズにつ いて、今後のカリキュラムについて、欠席者へのテキス ト配布と補講の必要性について	レベルのばらつきへの対応、運 営委員会メンバーの授業見学の 日程調整
2	平成25年 12月20日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	三上憲一、水谷大 輔、房前ミレーナ、青 木スージー、渡辺マ ルセロ、金箱亜希	再募集の検討、生徒のニーズへの対応	再募集の方法、曜日変更希望者 への対応をどうするか(今回は見 送り)
3	平成26年 1月24日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	三上憲一、水谷大 輔、房前ミレーナ、青 木スージー、渡辺マ ルセロ、金箱亜希	受講生へのヒアリング結果報告	講師からの授業内容報告、受講 生からの要望や改善希望点のヒ アリング結果報告
4	平成26年 2月5日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	三上憲一、水谷大 輔、房前ミレーナ、青 木スージー、登田ア ナ、金箱亜希	受講生のレベルアップができたか、来年度以降の日本 語教室について必要なリソースは何か	自己評価シートの改善点(もう少し 細かく聞いたほうがいい)、生 徒からの要望として多い平日夜 の開催について
5	平成26年 2月21日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	三上憲一、水谷大 輔、房前ミレーナ、青 木スージー、登田ア ナ、金箱亜希	日本語教室の総括、来年度以降の日本語教室につ いて	継続を希望している受講生の受 け入れ先の紹介、テキスト再レ ビュー

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室

- ・社会保険、医療、教育など日本の基本的な制度について理解できる
- ・軽い症状であれば一人で病院に行くことができる

(2) 目的・目標 公共交通機関を使いこなせる

- ・地震、災害、事故などの時にどの様に対処すれば良いかが分かる
- ・地域のことを知り、身近な人たちと交流することができる

(3) 対象者 ひらがな、カタカナが読める外国人

(4) 開催時間数(回数)3時間 (全24回)

(5) 使用した教材・リソース

オリジナル教材と各回の内容に即した副教材(路線図、朗読CDなど)、前週の授業の理解度に応じた補足資料

(6) 受講者の総数 15人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 14人、ペルー 1人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年9月28日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	15人	ペルー(1人)、ブラジル(14人)	自分について紹介する	・自己紹介とは ・新しい表現と言葉の意味 ・国の名前を書きましょう	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
2	平成25年10月5日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	13人	ペルー(1人)、ブラジル(12人)	色々な店での買い物	・新しい表現と言葉の意味 ・こそあど指示詞 ・買い物会話練習	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
3	平成25年10月12日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	電話で施設の予約や問い合わせ	・新しい表現と言葉の意味 ・「～から、～まで」の表現 ・曜日と時間 ・問い合わせの会話練習	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
4	平成25年10月19日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	公共交通機関の利用と道案内	・公共交通機関とは ・新しい表現と言葉の意味 ・「どこかへ」「どうやって」 ・道案内の会話練習	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
5	平成25年10月26日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	日本の四季と行事・文化	・新しい表現と言葉の意味 ・「～はをます」「～はへます」「～に」 ・日本の行事	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
6	平成25年11月2日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	郵便物を送る、受け取る	・郵便物の利用方法 ・新しい表現と言葉の意味 ・「～と～をください」「～に～を」 ・郵便物と不在連絡票について	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
7	平成25年11月9日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	不動産でアパートを契約する	・新しい表現と言葉の意味 ・「～は～です」 ・不動産屋で使う言葉 ・お店の名前	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
8	平成25年11月16日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	日本の歌を歌う	・新しい表現と言葉の意味 ・「～は」「～は～が」 ・日本の歌「ふるさと」	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
9	平成25年11月23日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	8人	ブラジル(8人)	症状を伝える	・新しい表現と言葉の意味 ・「～が」「～は～ない」「～くないです」「～じゃないです」 ・症状を聞く会話練習	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
10	平成25年11月30日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	7人	ブラジル(7人)	電話で診察の予約をする	・新しい表現と言葉の意味 ・「～を～たいんですが」 ・予防接種の種類	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
11	平成25年12月7日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	災害の危険から身を守る	・新しい表現と言葉の意味 ・「～より～のほうが」の表現 ・災害のための準備 ・警報、注意報の種類	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
12	平成25年12月14日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	日本の冠婚葬祭に参加する	・新しい表現と言葉の意味 ・「～を～たいです」「～か～はありますか」 ・日本と外国との結婚式の違い	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
13	平成25年12月21日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	7人	ブラジル(7人)	各種手続きをする	・申請書とは ・新しい表現と言葉の意味 ・書類の書き方 ・こそあど指示詞の丁寧な表現 ・「～ので～ませんか」「～にちの読み方」	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
14	平成25年12月28日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	5人	ブラジル(5人)	地域活動に参加する	・新しい表現と言葉の意味 ・「～てもいいですか」 ・エコマークの種類 ・「て形」	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
15	平成26年1月11日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	7人	ブラジル(7人)	銀行口座を開設する	・新しい表現と言葉の意味 ・口座開設申し込み ・「～を～てから～を～てください」 ・「い形容詞」「な形容詞」 ・「～でも～でも、いいですよ」	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
16	平成26年1月18日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	ハローワークで仕事を探す	・新しい表現と言葉の意味 ・「いまどんな仕事をしていますか」「いままで～してきましたか」「これから～やってみたいですか」 ・辞書形	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
17	平成26年1月25日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	面接を受ける	・新しい表現と言葉の意味 ・「～を」「～を～ながら～を～ます」 ・「た形」 ・面接の身だしなみ、マナー	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
18	平成26年2月1日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	友だちをさそう	・新しい表現と言葉の意味 ・丁寧体から普通体への変更 ・友だちを誘う	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
19	平成26年2月8日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	現場の状況を伝える	・新しい表現と言葉の意味 ・「～が～を～しています」 ・110版と19番 ・身の回りの注意書き	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
20	平成26年2月15日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	7人	ブラジル(7人)	TPOに適した話し方	・TPOとは ・新しい表現と言葉の意味 ・「～方」「～たほうがいい」 ・許可の取り方	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
21	平成26年2月22日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	8人	ブラジル(8人)	擬態語や擬音語での表現	・擬音語、擬態語とは ・新しい表現と言葉の意味 ・「～ちゃう」「～ちゃった」 ・色々な擬音語、擬態語	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
22	平成26年3月1日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	11人	ペルー(1人)、ブラジル(10人)	分からない語彙を伝える	・新しい表現と言葉の意味 ・「～で～って/と」	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
23	平成26年3月8日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	具体的に伝える	・5W1H ・新しい表現と言葉の意味 ・「～たら」 ・表現や語彙を増やす、考える練習、連想ゲーム	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー
24	平成26年3月15日 9:00~12:00	3時間	多文化のまちづくり 岐阜事務所	10人	ペルー(1人)、ブラジル(9人)	これからのわたし	・自分で文章を組み立てて発表する練習 ・インタビューゲーム ・あいずち ・これからの目標	三上憲一	房前ミレーナ、青木スージー

(8) 受講者の募集方法

- ・ハローワーク美濃加茂、可児市国際交流協会、(特活)MixedRoots×ユース×ネット☆こんぺいとう
- ・近隣の外国人向けスーパー、レストランで受講生募集チラシの掲示(美濃加茂市内4軒、可児市内2軒、坂祝市内1軒)
- ・外国人集住地域へのチラシのポスティング

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

■第9回、10回<病院での会話①、②>

病院での会話は全ての授業の中でも最も難しく、知らないことも多い内容であった。「チクチク」「キリキリ」「ズキズキ」といった表現は母語にはなく、それに代わる表現や自分の痛みや症状を正しく伝えることの難しさを生徒も講師も実感した。また、病院での会話に関連して、社会保険、健康保険や医療、福祉に関わる制度についての質問が相次ぎ、言葉の意味だけでは無く、外国人には、制度そのものの理解や情報が行き渡っていないと感じた。

■第21回<擬態語や擬音語>

日本語の擬態語や擬音語は非常に多く、病院での会話と同様に、聞いたことはあるが、意味が分からずに過ごしていたという生徒も多かった。実際に、ものを叩いたり、動作をしてみても、どのような擬態語や擬音語が当てはまるかを聞いてみると、人によって、聞こえ方が違っていた。また、雨が「しとしと」「ザーザー」「ポツポツ」「パラパラ」など、音の違いで量の違いが表現されていることには、生徒が非常に興味を持っていた。



(10) 目標の達成状況・成果

最後の授業終了後に受講生にヒアリングアンケートを実施した。(以下はその抜粋)

- ・通訳だけではなく、講師もポルトガル語が分かったのが良かった。
- ・文法は難しかったが、漢字をもっと勉強したかった。
- ・授業が終わってからも質問に対応してくれたり、生活で困っていること、市役所や学校からの文書についても説明をしてくれたので助かった。
- ・一週間に一回では足りないと思った。

生徒の人数が多かった分、レベル差もあったが、生徒の全てが同じ言語でのコミュニケーションが取れたので、お互いに助け合ったりすることができた。生徒からは、テキスト以外の生活に必要な情報についての質問も多々あり、地域の外国人の情報不足についても少しは改善できたと思う。

(11) 改善点について

上記のアンケートの中には以下のような意見もあった。

- ・平日の夜に授業をして欲しい。
- ・会社の中で日本語教室を開いて欲しい。

また、担当講師からは、今後の課題として以下のような意見があった。

- ・会話中心の授業ではあるが、どうしても文法を教える必要があり、その際には、母語での指導が有効だと感じた。
- ・仕事の都合で参加できない方がいた。

今後は、日本語教室を母語で教えることのできる人材の確保、開講時間などの調整が必要であると感じた。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

地域における生活に必要な実践的日本語教室の開設、運営方法

(2) 目的・目標

当事業『まなび、して、つかう!』生活に必要な日本語教室』の教材を使用した日本語教室を開くことができる人材を養成し、地域にサテライトとして日本語教室を開設する。

(3) 対象者

日本語教育に興味のある一般応募者(条件無し)

(4) 開催時間数(回数)4時間 (全8回)

(5) 使用した教材・リソース

- ・当事業「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室の教材
- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案
- ・「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室の開設、運営方法のオリジナル教材

(6) 受講者の総数 8人

(出身・国籍別内訳 日本国 4人、ブラジル2人、フィリピン2人)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 10月12日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	7人	日本(4人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(1人)	日本語教室 の事業計画 書の作り方	地域の特性や課題(日本語教室の散在 化、多文化共生、外国人理解につ いて)、近隣の利用可能施設、損益分岐表 の使い方など	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
2	平成25年 10月19日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	8人	日本(4人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(2人)	日本語教室 の運営につ いて	近隣でどのような日本語教室が開催され ているか、他地域の日本語教室の取り 組み、個人情報保護と各種助成金など について	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
3	平成25年 10月28日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	8人	日本(4人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(2人)	カリキュラム について	「生活者としての外国人」に対する日本 語教育の標準的なカリキュラム案活用 のためのガイドブックに沿って、標準的な カリキュラム案(30単位)や地域や学習者 のニーズに応じたカリキュラムの構成方 法など	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
4	平成25年 11月2日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	6人	日本(4人)、 ブラジル(1 人)、フィリ ピン(1人)	授業ロール プレイとケー ススタディ自 己紹介	当事業「まなび、して、つかう！」生活 に必要な日本語教室の教材の一部を使 用したロールプレイとケーススタディ研 修を通じ、問題点や日本語指導におけ る難点を理解する。また、解決方法につ いて話し合い、教材のレビュー	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
5	平成25年 11月9日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	6人	日本(4人)、 ブラジル(1 人)、フィリ ピン(1人)	授業ロール プレイとケー ススタディ	当事業「まなび、して、つかう！」生活 に必要な日本語教室の教材の一部を使 用したロールプレイとケーススタディ研 修を通じ、問題点や日本語指導におけ る難点を理解する。また、解決方法につ いて話し合い、教材のレビュー	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
6	平成25年 11月16日 13:00~ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	8人	日本(4人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(2人)	外国人ボラ ンティアを入 れた模擬授業	日本語教室の生徒などを招いての模擬 授業を通して、レベルのばらつきや国籍 特性による教え方の工夫	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
7	平成25年 11月23日 9:00~ 14:00(内 1時間休	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	7人	日本(3人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(2人)	日本語教室 に参加	当事業「まなび、して、つかう！」生活 に必要な日本語教室に地域ボランティア として参加する。生徒のうち、希望者 には授業後に残ってもらい、意見交換 会を実施	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー
8	平成25年 11月30日 9:00~ 14:00(内 1時間休	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	8人	日本(4人)、 ブラジル(2 人)、フィリ ピン(2人)	日本語教室 に参加	当事業「まなび、して、つかう！」生活 に必要な日本語教室に地域ボランティア として参加する。生徒のうち、希望者 には授業後に残ってもらい、意見交換 会を実施	三上憲一	房前ミレーナ、青 木スージー

(8) 受講者の募集方法

ハローワーク美濃加茂、(特活)MixedRoots×ユース×ネット☆こんぺいとう、美濃加茂国際交流協会などの近隣の外国人支援や日本語教室を開講している団体やNPOに直接の声かけ

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

■第3回

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブックに沿って、標準的なカリキュラム案や地域や学習者のニーズに応じたカリキュラムの構成方法などを学んだ。

受講生からの意見としては、

- ・「標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブック」を使っても、オリジナルテキストを作成するのは、時間、お金、ノウハウの面でも厳しい
 - ・文化庁やオフィシャルな機関の推薦市販テキストがあれば良いと思う。
 - ・他の日本語教室が作成したテキストも使用できるとのことだが、そのテキスト自体の有効性をチェックする機関がなければ意味が無い。
 - ・テキストに頼りすぎると、つまらない授業になり、生徒の学習意欲がなくなる。
- といった意見が聞かれた。

■第7回、第8回

当事業「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室にボランティアとして参加し、生徒との意見交換会も実施した。

感想としては、

- ・重要な箇所や文法については母語で教えることのできる先生だったので、生徒にはとても役立っていると思った。
 - ・まず最初に今日は何を学ぶのかを伝えて、生徒の学習意欲や理解度を高める方法が良かった。
 - ・日本語教室の生徒からは、日本語を学ぶだけでなく、生活のサポートもしてくれる教室なので、ずっと通い続けたいという話もあった。
- といった意見が聞かれた。



(10) 目標の達成状況・成果

生徒の中には外国人もおり、日本語教室の生徒との意見交換会でも、特にこの美濃加茂、可児地域では、通訳付きや母語で日本語を教えることのできる日本語教室が求められている様子であった。参加した生徒の中には、教室の立ち上げを検討している生徒も数名おり、お互いが助け合ったり、協力し合う関係を築ききっかけになった。

(11) 改善点について

外国人の受講希望者を想定していなかったため、テキストの一部が難しかったようだった。また、授業見学やボランティアスタッフとして、実際の教室に入ってもらい機会をもっと増やし、ケーススタディやディスカッションを増やすべきであった。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室の学習教材

(2) 対象

「まなび、して、つかう！」生活に必要な日本語教室の受講生

(3) 目的・目標

生活に必要な情報と会話練習を中心としたテキスト構成とするが、基本文法については、各カリキュラムに関連の深い例文などを交えながら、反復学習ができ、「聞く」「読む」「話す」「日本語で考えて発表する」といった内容をバランスよく織り込んだ教材を開発する

(4) 構成・総ページ数

全24回(126ページ)

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 9月3日 10:00～ 12:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 羽山千尋	顔合わせ、事業内容の説明、それぞれの役割分担	質疑応答
2	平成25年 9月10日 13:00～ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー	参考教材や近隣日本語教室調査報告(テキスト、日時、 内容など)、テキスト構成について	スケジュール調整、各自の作業 分担、構成の検討
3	平成25年 9月17日 18:00～ 22:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー	叩き台テキスト作成(スキットと新しい表現、単語)	参考資料の持ち寄り、叩き台テ キスト作成
4	平成25年 9月24日 13:00～ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー	叩き台テキスト作成(練習問題)・レビュー	叩き台テキストの修正箇所を検 討
5	平成25年 10月1日 10:00～ 12:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 羽山千尋	叩き台テキストの修正箇所の確認	前回の会議の検討内容に従い、 テキストの修正箇所について各 自の分担を確認
6	平成25年 10月8日 13:00～ 17:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー、羽山 千尋(2時間のみ)	テキスト(第1回～第11回)のレビューと講師の要望との すり合わせ	各自の担当パートの作業内容確 認
7	平成25年 10月15日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 羽山千尋	講師からのテキストの使用感想報告と修正依頼(テキス トレベルを下げたほうが良い)	受講生や講師のニーズやに合わ せたテキストに修正
8	平成25年 11月6日 18:00～ 22:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー	テキスト(第12回～第22回)のレビューと講師の要望と のすり合わせ	各自の担当パートの作業内容確 認
9	平成25年 11月11日 18:00～ 20:00	2時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 羽山千尋	講師からのテキストの使用感想報告と修正依頼(覚える 表現や単語が多いので減らして欲しい)	受講生や講師のニーズやに合わ せたテキストに修正
10	平成26年 2月4日 18:00～ 22:00	4時間	多文化のまち づくり 岐阜事 務所	水谷大輔、金箱亜 希、倉岡ジュリアナは るえ、房前ミレーナ、 青木スージー、羽山 千尋(2時間のみ)	講師からのテキストの使用感想報告と修正依頼(全カリ キュラムを通しての修正依頼)	受講生や講師のニーズやに合わ せたテキストに修正

(6) 使い方

受講生のレベルや知識欲求の程度や内容を考慮しながら、「覚える」→「練習する」→「応用して使ってみる」といった段階で、必要な単語や表現、基礎文法を反復学習する。

(7) 具体的な活用例

スキット: 読む練習と一つひとつの単語、表現について説明

練習問題: 基礎的な文法学習などを各カリキュラムのテーマに沿った表現や単語を使って学習

応用問題: 覚えた内容を使って、日本語で考え、発表する練習

(8) 成果物の添付

別添

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

デカセギから定住化に向かいつつある地域の外国人が生活に必要な日本語を学習しながら、日本の制度や習慣を学び、生活能力を高め、多文化共生の地域を支える一員として活躍することで、外国人の社会参加を促進していくことを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

外国人集住地域の特徴として、これまでは日本語を積極的に学習せずに生活することが容易であったが、景気後退や近隣の外国人支援団体の事業縮小などにより、急に日本語の必要性や生活に必要な情報不足を実感するようになった。今回の日本語教室を通して、日本語の学習だけでなく、生活に必要な情報の習得や日本語と日本文化の学習によって日本理解が進み、地域や学校、会社での行事に積極的に参加できる自信ができたという生徒も多かった。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

地域の日本語教室の指導者を始め、まだまだ標準的なカリキュラムの認知度は高くなく、ボリュームも大きいいため、その活用方法が分からないという人も多かったので、活用方法についてのセミナーなど啓蒙活動が必要だと感じた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

公共交通機関の発達していないこの地域において、自身の生活範囲内で日本語教室があるかどうか重要である。今回の日本語教室の開催にあたり、いくつかの日本語教室にヒアリングや生徒紹介をすることができ、今後の地域の日本語教室の連携を模索できた。

(5) 改善点、今後の課題について

地域特性として、公共交通機関があまり発達しておらず、外国人の多く住む集合住宅近辺には、日本語教室が少ない。特に電車、バスなどの公共交通機関、車などに乗りなれていない主婦層や高齢の外国人にとって、自身のニーズや時間帯にあった日本語教室を見つけ、通うことが難しい。また、日本語の学習意欲が高くても、仕事の不規則なシフトの関係で、継続的な学習ができない例も少なくない。今後は、企業内での日本語教室の開講や日本語教室ボランティアを増やすことで、受講希望者の様々なニーズや学習時間の希望に対応できる教室や環境を整えていく必要があると感じた。

(6) その他参考資料